

単元	年 組 番
6年「武士の世の中」	氏名

<※解答例>

1 3人の武将の「生い立ち」や「主な戦（いくさ）および政策」、「外国との関係」について、人物年表や教科書を使って、下の表にまとめてみましょう。

	生い立ち	主な戦（いくさ）および政策	外国との関係
織田信長	○尾張（愛知県）に生まれる。 ○大名の子どもとして生まれる。	○長篠の戦いで、鉄砲を使って徳川軍とともに、武田軍をやぶる。 ○延暦寺の焼き討ちにする。 ○室町幕府を滅ぼした。	○キリスト教を保護する。 ○南蛮貿易を行う。
豊臣秀吉	○尾張（愛知県）に生まれる。 ○百姓の子どもとして生まれる。	○刀狩を行い、百姓たちが反抗できないようにした。 ○検地をおこなって、耕作者をはっきりさせた。	○キリスト教を禁止する。 ○朝鮮出兵を行う。
徳川家康	○三河（愛知県）に生まれる。 ○城主の子どもとして生まれる。 ○今川氏の人質となる。	○征夷大將軍となって、江戸幕府を開いた。 ○大阪城をせめて豊臣氏をほろぼした。	○キリスト教を禁止する。 ○朝鮮に使者を送り交流を再開した。

2 3人の武将の行動や性格を表す句があります。それぞれ、どうしてこのように表現されたのか人物年表や上の表などを見て理由を書きましょう。

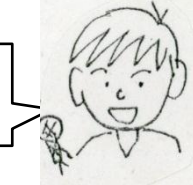
<織田信長> 鳴かぬなら 殺してしまえ ホトトギス	<豊臣秀吉> 鳴かぬなら 鳴かせてみせよう ホトトギス	<徳川家康> 鳴かぬなら 鳴くまでまとう ホトトギス
延暦寺を焼き、室町幕府をほろぼすなど、古い習慣や制度をなくし、南蛮貿易や鉄砲など新しいものを取り入れたから。	武力だけではなく、争いが起きないように、農民に武器を持たせないようにするなど工夫したから。	信長や秀吉に仕えながらも、天下統一のチャンスを待っていたから。

単元	年 組 番	
6年「武士の世の中」	氏名	

<※解答例>

1 3人の武将にインタビューをしました。それぞれの武将になりきって、答えてみましょう。

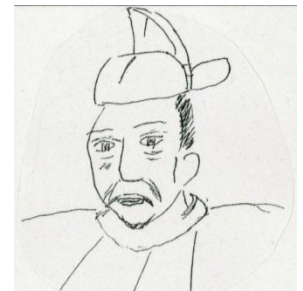
天下統一のために、みなさんが行ったことや苦勞したことを教えてください。



織田 信長

わしは鉄砲を使い、どんどん勢力を広げていったのじゃ。また、南蛮貿易も行い、ヨーロッパの文化を取り入れていったのじゃ。室町幕府もほろぼし、天下統一のための準備を着々と進めていたのじゃが、明智光秀にやられてしまい、残念じゃ。

信長様の思いを引きついで、天下統一を成しとげることができたぞ。刀狩や検地を行い、土地だけではなく人々の身分をはっきりとさせ、全国を支配していったのじゃ。2度も朝鮮への出兵をしたが、残念ながらうまくいかなかったのじゃ。



豊臣 秀吉



徳川 家康

若いころから信長と組んだり、秀吉に仕えたりと苦勞をしたのじゃ。しかし、がまん強くチャンスを待った結果、全国を統一し、江戸幕府を開くことができたのじゃ。また、徳川家が代々将軍になるように、息子に将軍職を2年でゆずったのじゃ。

2 全国統一を進めた3人の関係についてのうたです。「織田」は織田信長、「羽柴」は豊臣秀吉、「徳川」は徳川家康です。内容をかんたんに説明しましょう。

織田がつき

羽柴がこねし天下もち

すわりしままに 食うは徳川

信長が武力で他の武将をおさえ、秀吉

がほぼ全国の大名を従えた後で、家康が

豊臣氏を倒したので天下を手に入れた。